

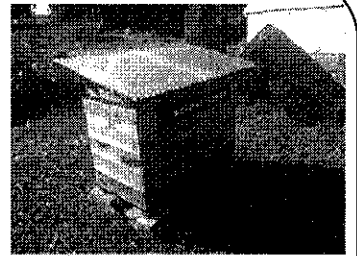
キエーロ よかよ~!

現在は生ごみを分別せずに出せる石飛地区でも、キエーロを活用して生ごみの自家処理をしている人が増えています。もちろん分別地区でも！自分の家から出るごみの行方を気にかけ、環境にいい暮らしを心がけている方々を紹介します。

塘田喜一郎さん・由起子さん（石飛）／ なんさま楽です！ 9月から使い始めました。5人家族なので、大型です。台所では穴あきのビニール袋に生ごみを入れ、ほぼ毎日キエーロに入れて、袋は洗って繰り返し使っています。生ごみは畑に埋めていましたが、捨てる度に穴を掘るのは大変でした。何よりいいのは、キエーロは高さがあるので楽な姿勢で生ごみを埋められるようになったことです。コンポストのように虫がわかず、すぐ分解するのもいいですね。



赤崎和子さん（石飛）／ においません！ 90歳の母と夫との3人家族で、中型を8月末から使っています。土はホームセンターで一番安いものを購入しました。2日に1回ほどの頻度で生ごみを入れています。魚が好きなので、においもなく処理できるのがいいです。畑に入れていた時は、あちこちに穴を掘るのが大変でした。キエーロは埋めるのが楽で、骨も残らず、動物も来ず、きれいになるのでいいです。申し込んでとてもよかったです。



牧下久代さん（牧の内）／ 魚好きに最適！ 夫と2人家族で中型を使っています。最初は水を加えなかったのが分解が悪かったのですが、生ごみと一緒に水を入れるようにしてからは、分解がよくなりました。魚料理が好きなので、内臓や骨をキエーロですぐ処理できるのがとてもいいです。今まではにおいが出るので、ごみの日まで冷凍庫に入れていたんです。夏休みに小学4年生の孫が来た時に、キエーロにとっても関心を持ってくれました。「これ、すごくいいことだね」と、ごみを自由研究のテーマにして、広用紙2枚に熊本市のごみ分別との比較をしていました。キエーロは、子どもたちの自由研究にも役立ちますよ。



★ 生ごみは自家処理できる唯一のごみです。便利で簡単なキエーロライフを始めませんか。

「みなへら通信」は、ごみの焼却・埋立に頼らないまちづくりの仕組みを市民・事業者・行政の協働でつくっていくゼロ・ウェイスト円卓会議が発行する情報紙です。バックナンバーは水俣市のホームページからもご覧いただけます。

みなへら通信

検索

お問い合わせ：水俣市環境クリーンセンター TEL 62-4101